

高齢者福祉事業の実施状況

第 1 回境港市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会

基本目標																													
施策の展開																													
取り組みの柱・実績																													
目標1 地域で生きがいを持ち、いきいきと暮らす																													
基本施策1 地域のネットワークづくり																													
ア 相談・支援内容	<p>①地域包括ケア推進事業</p> <p>包括ケア体制の推進を図るため、境港市包括ケア推進協議会（代表者会議・実務者会議）で、課題など必要事項を検討する。平成29年度からは、高齢者の生活支援に向け、課題抽出を行い、多職種の専門職や地域住民団体の代表による、地域ケア会議を開催し、支援策を検討。また、多職種連携を深めるために研修会なども開催する。 合わせて、包括ケアの講演会を実施し、住民に対する啓発を行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケア会議開催回数</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>多職種連携研修会開催回数</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	地域ケア会議開催回数	3回	3回	多職種連携研修会開催回数	1回	1回																		
		平成30年度	令和元年度																										
地域ケア会議開催回数	3回	3回																											
多職種連携研修会開催回数	1回	1回																											
<p>②地域包括支援センターの機能強化</p> <p>地域包括ケア体制の中核を担う、直営型地域包括支援センターを市役所内に設置し、高齢者福祉に関する相談業務やフレイル予防の取り組みを中心とした介護予防事業及び、住民自身が自分事として健康づくりや介護予防に取り組める仕組みづくりを継続推進する。また、地域の高齢者及びその家族の福祉向上を図る。平成30年4月から出向職員を1人増員、平成31年1月から更に1人増員となる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険</td> <td>2,001件</td> <td>2165件</td> </tr> <tr> <td>ふれあいの家</td> <td>0</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td>パワーリハビリ</td> <td>14件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>軽度生活援助事業</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>配食サービス</td> <td>18件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>緊急通報システム</td> <td>0</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>施設・病院</td> <td>701件</td> <td>1108件</td> </tr> <tr> <td>福祉用具</td> <td>239件</td> <td>358件</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	介護保険	2,001件	2165件	ふれあいの家	0	12件	パワーリハビリ	14件	16件	軽度生活援助事業	1件	0件	配食サービス	18件	24件	緊急通報システム	0	3件	施設・病院	701件	1108件	福祉用具	239件	358件	※対応を含む
	平成30年度	令和元年度																											
介護保険	2,001件	2165件																											
ふれあいの家	0	12件																											
パワーリハビリ	14件	16件																											
軽度生活援助事業	1件	0件																											
配食サービス	18件	24件																											
緊急通報システム	0	3件																											
施設・病院	701件	1108件																											
福祉用具	239件	358件																											

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

		平成30年度	令和元年度	
		住宅改修	239件	228件
		精神・認知症問題	177件	121件
		家族問題	65件	157件
		経済問題	28件	53件
		安否確認	43件	130件
		その他	211件	547件
		小計	3,649件	4,922件
		イ 権利擁護関係		平成30年度
認知症ケース対応	19件		15件	
権利擁護・成年後見	29件		25件	
高齢者虐待	5件		9件	
小計	49件		49件	
	③ケアマネジャー支援			
		平成30年度	令和元年度	
	ケアマネジャー支援	5件	5件	
	①②③ 合計	3,703件	4,976件	
ウ 介護予防支援事業所関係		平成30年度	令和元年度	
	担当件数（請求件数より）	5,644件	6,311件	
	ケアマネジャー人数	12人、平成31年1月から13人	13人	
エ 介護保険運営協議会	地域包括支援センター業務、地域密着型サービス及び介護予防・日常生活支援総合事業に関する審議等を行う委員会を設置することで、適正な介護保険業務の運営を確保する。			
		平成30年度	令和元年度	
	開催回数	4回	3回	

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

③地域での見守り体制の充実

ア 高齢者見守りネットワーク構築事業

災害時に避難支援が必要な高齢者、障がい者等の安否確認等を行う地域での取組みに対し、支援を行う。

区 分	平成30年度	令和元年度
当該年度補助件数	2件	3件

※事業実施地区数（令和元年度末時点）：4地区（4団体）

イ 高齢者実態調査事業

65歳以上の一人暮らし高齢者や80歳以上のみの高齢者世帯を訪問し、生活状況を把握することで、支援を必要とする者に対する訪問活動等に繋げる。

	平成30年度	令和元年度
65歳以上の独居世帯	1,485世帯	1,627世帯
80歳以上のみの世帯	189世帯	231世帯

ウ 緊急通報システム事業

身体に不安のある一人暮らし高齢者宅に緊急通報装置を設置し、訪問や電話による定期的な安否確認や相談等に応じる。

区 分	平成30年度	令和元年度
設置件数（年度末時点）	26件	26件

エ 高齢者見守り事業

75歳以上で在宅の一人暮らし高齢者宅を月1回訪問し、安否確認し生活相談等を行う。

区 分	平成30年度	令和元年度
登録者数	12人	17人

オ 避難行動要支援者名簿の整備

災害時の避難行動要支援者を把握し、データ管理を行うとともに、地域の自主防災組織等に情報を提供し、災害時の避難支援や平常時からの見守りに活用する。

対象者：65歳以上の一人暮らし高齢者、80歳以上のみの高齢者世帯、要介護3以上の在宅高齢者、身体障害者手帳1・2級の在宅生活者

基本目標														
施策の展開														
取り組みの柱・実績														
基本施策2 地域資源を活かした多様な介護予防と社会参加の推進														
2-①健康づくりと介護予防の推進	平成30年度からは、フレイル予防を取り組みの中心とし、健康長寿のための3つの柱「運動」「栄養」「社会参加」と地域づくりの視点を取り入れ、各事業を包括的に展開する。													
ア 運動器機能向上事業	<p>寝たきりの原因となる高齢者の転倒を予防するため、軽体操の指導、レクリエーションの実施や転倒予防に関する講演、講話を開催する。</p> <p>平成29年度からは、いきいき百歳体操を4回シリーズの教室で実施し、その後、地域住民の自主サークル活動につなげる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用人員</td> <td>1,413人</td> <td>340人</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>82回</td> <td>23回</td> </tr> </tbody> </table>			平成30年度	令和元年度	延利用人員	1,413人	340人	実施回数	82回	23回			
	平成30年度	令和元年度												
延利用人員	1,413人	340人												
実施回数	82回	23回												
イ 介護予防筋力向上トレーニング事業	<p>ストレッチングや機器を使用した筋力トレーニングなどの運動指導や口腔機能の向上、栄養改善に関する知識・技術を提供し、身体機能の維持・向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防コース、器具コース、体操コース（令和元年度1クールのみ） 委託先：社会福祉法人こうほうえん 実施場所：いきいきリハビリテーションセンターさかい幸朋苑、保健相談センター、老人福祉センター アクアコース（令和元年度は委託せず） 委託先：特定非営利活動法人境港スイミングスクール 実施場所：境港市民温水プール フィットネスBコース 委託先：株式会社パジャスポーツ 実施場所：保健相談センター フィットネスAコース 委託先：境港市社会福祉協議会 実施場所：保健相談センター <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用人員</td> <td>2,903人</td> <td>2,509人</td> </tr> <tr> <td>実利用人員</td> <td>119人</td> <td>119人</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>238回</td> <td>198回</td> </tr> </tbody> </table>			平成30年度	令和元年度	延利用人員	2,903人	2,509人	実利用人員	119人	119人	実施回数	238回	198回
	平成30年度	令和元年度												
延利用人員	2,903人	2,509人												
実利用人員	119人	119人												
実施回数	238回	198回												

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

ウ 健康相談事業

高齢者の心身の健康に関し、個人に応じたきめ細やかな指導及び助言を行う。

エ 健康教育事業

健康づくりや介護予防についての知識の普及によって、高齢者の健康の保持増進を図り、介護が必要な状態になることを予防する。

	平成30年度	令和元年度
延利用人員	228人	772人
実施回数	7回	16回

オ 口腔機能向上・栄養改善推進

第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定に向けて実施した日常生活圏域ニーズ調査において、本市高齢者の口腔機能リスクが高いことを受け、高齢者が自立した生活機能を維持し、要介護状態になることを防ぐために、口腔機能についての講話や口腔衛生・体操等の実技を取り入れた講座を開催。後期高齢者広域連合が実施する歯科健康診査も同時開催。

	平成30年度	令和元年度
延利用人員	689人	751人
実施回数	49回	43回

カ 元気シニア増やそう（フレイル予防事業）

フレイル(虚弱)予防の取り組みである「栄養・運動・社会参加」について、先駆けである、東京大学高齢社会研究機構のスタッフを講師に「フレイルサポーター養成講座」を実施し、サポーター、トレーナーを育成、住民にフレイルチェックを行う。住民は、自主的に地域で健康づくり、介護予防に取り組み、このチェックを受けることでフレイル予防を学び、自分の状態に気づいていく。また、講演会で予防の周知啓発を行い、住民主体の健康づくり・介護予防の仕組みづくりを行う。

	平成30年度	令和元年度
延利用人員	504人	551人
実施回数	14回	31回

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

キ 高齢者鍼・灸・マッサージ施術
費助成事業

鍼・灸・マッサージ施術に要する費用の一部を助成。1回につき900円の助成券を申請月から3月までの月数分交付。
対象者：70歳以上で市民税非課税世帯の者

区 分	平成30年度	令和元年度
助成券交付者	30件	20件

ク 生活管理指導短期宿泊事業

介護保険の認定対象外であっても介護予防が特に必要な高齢者が、養護老人ホーム等に一時的に宿泊し、基本的な日常生活を送る訓練を行う。

2-②介護予防・日常生活支援総合
事業の実施

要支援1・2の者、要介護状態となるおそれの高い高齢者に対し、介護予防や生活支援サービスを提供する。
平成28年4月から介護サービス事業所による訪問介護、通所介護相当のサービス提供を実施。平成29年度からは介護サービス事業所のほか市社会福祉協議会、シルバー人材センターによる多様なサービスを提供。

【訪問介護、通所介護相当サービス】

区 分	支給額（延べ利用件数）	
	平成30年度	令和元年度
訪問型サービス	22,699千円 (1,404件)	25,418千円 (1,492件)
通所型サービス	48,124千円 (2,166件)	54,399千円 (2,454件)

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

【多様なサービス】

(通所型サービス)

- ・みなと元気塾 定員：20人
委託先：境港市社会福祉協議会
実施場所：老人福祉センター
 - ・まめなかや 定員：10人
委託先：社会福祉法人こうほうえん
実施場所：いきいきリハビリテーションセンターさかい幸朋苑
- (訪問型サービス)
委託先：(公社)境港市シルバー人材センター

2-③介護予防・生活支援サービスの体制整備

ア 生活支援体制整備事業

包括ケア体制の構築に向け、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、生活支援の担い手となるボランティアの育成や関係者のネットワーク化などを図る。
平成29年度に第1層（市全体区域）のコーディネーターを市社会福祉協議会に1名配置。

イ 生活支援サービス事業

高齢者世帯の見守りを兼ねたごみ出しを地域団体に委託し、高齢者の在宅生活を支援する。

区 分	平成30年度	令和元年度
実施団体数	2団体	3団体
延べ実施件数	10件	15件

ウ 軽度生活援助事業

一人暮らし高齢者等の在宅生活を支援するため、シルバー人材センターを利用した場合、年間16時間を限度に利用料の5割を助成する。
対象者：65歳以上の一人暮らし高齢者、もしくは70歳以上のみの高齢者世帯

区 分	平成30年度	令和元年度
利用者数	324人	338人
延利用時間	2,974時間	3,456時間

基本目標

施策の展開

取り組みの柱・実績

2-④社会参加と生きがいづくり

ア 高齢者クラブ活動の促進 単位高齢者クラブ及び市連合会組織の運営を財政支援し、高齢者の社会活動を支援する。

イ 多様な学習機会の創出

ウ 地域活動の促進

エ 就労促進（シルバー人材センター） シルバー人材センターの運営支援により、高齢者の就業機会の増大を図り、高齢者の地域貢献や生きがいづくりを促進する。
シルバー人材センターの運営費補助のほか、軽度生活援助事業、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスの委託により高齢者の就業の機会を創出している。

オ 高齢者サークル活動支援 高齢者が活動するサークルやコミュニティ活動の立ち上げを支援することにより、社会参加の促進を通じた介護予防の推進、高齢者の生きがい・やりがいの増進を図る。

	平成30年度	令和元年度
委託件数	3件	0件

カ 高齢者ふれあいの家事業 在宅の高齢者を対象に、身近な集会所等で地域の援助員等と、レクリエーションや脳トレ、軽体操などの生きがい活動をとおして、社会的孤立の解消、自立生活の支援を行う。

区 分	平成30年度	令和元年度
延利用者数	15,969人	15,171人
回数	1,344回	1,244回

キ 敬老事業 【敬老事業】
百歳を迎える高齢者に記念品を贈呈、米寿を迎える高齢者等に祝金を支給し、長寿を祝う。

区 分	平成30年度	令和元年度
100歳高齢者	17人	15人
米寿高齢者	252人	268人
市内・地区最高齢者	14人	14人

基本目標										
施策の展開										
取り組みの柱・実績										
	<p>【金婚・ダイヤモンド婚記念事業】 婚姻50周年（金婚）、60周年（ダイヤモンド婚）にあたる高齢者夫婦に記念品等を贈り祝賀する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ダイヤモンド婚</td> <td>23組</td> <td>28組</td> </tr> <tr> <td>金婚</td> <td>44組</td> <td>36組</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成30年度	令和元年度	ダイヤモンド婚	23組	28組	金婚	44組	36組
区 分	平成30年度	令和元年度								
ダイヤモンド婚	23組	28組								
金婚	44組	36組								
ク ボランティア活動の促進	<p>社会参加を通じた介護予防の推進の観点から、高齢者のボランティア活動を支援する。令和元年10月から市社会福祉協議会と連携し実施。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録者</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	令和元年度	登録者	10人					
区 分	令和元年度									
登録者	10人									
目標2 住み慣れた地域で安心して暮らし続ける										
基本施策3 医療と介護の連携体制づくり										
1-①在宅医療・介護連携推進事業	<p>市独自の取り組みとして、地域ケア個別会議、フレイル予防コア会議など、機能ごとに、より実践的な体制で開催し、地域課題や地域支援体制の協議を多職種で実施する。また、7期で「在宅医療体制充実のための協議会」にて作成した、個人の疾病やかかりつけ医、状態を記した連携ノートを引き続き活用し、緊急時、災害時などに安心して医療が受けられるものとする。</p> <p>また、西部圏域全体での取組も合わせて進める。 きめ細やかな医療と介護のサービス提供が可能となるよう取組むとともに、地域住民に対する普及啓発を行う。</p>									
1-②家族介護の支援 ア 家庭家族用品購入費助成事業	<p>在宅でねたきりや認知症で常時おむつを使用している高齢者を介護している家族に、介護用品（紙おむつ）の購入費を助成することにより、介護者の負担を軽減する。 要介護4・5の認定を受けた高齢者の介護者に対して月額6,250円、それ以外の者に対し月額1,200円の利用券を交付。</p>									

基本目標					
施策の展開					
取り組みの柱・実績					
	イ 家族介護教室	介護方法や介護予防、介護者の健康づくり等についての知識、技術を習得し、介護者同士の交流を図ることを目的に介護教室を開催し、高齢者を介護する家族を支援する。	区 分	平成30年度	令和元年度
			登録者数（要介護4・5）	18人	14人
			登録者数（上記以外）	19人	23人
			平成30年度	令和元年度	
			参加人員	47人	20人
			開催回数	2回	1回
	ウ 在宅ケアICT活用二市連携事業	国庫補助不採択により実施取りやめ（平成30年度報告）			
基本施策4 認知症の理解と普及啓発、予防と早期対応等の推進					
	2-①認知症の予防・早期診断・対応の支援				
	ア 認知症初期集中支援チーム設置事業	高齢者の増加により認知症高齢者も増加することが見込まれるため、認知症の早期診断、早期対応に向け、認知症初期集中支援チームを設置し、早期に包括的な支援を行い、必要なサービス等の提供につなげる。 平成29年4月より認知症初期集中支援チームを設置、専門医師も参加し、月1回チーム員会議を開催。	平成30年度	令和元年度	
			実施回数	12回	9回
			検討件数	12件人	11件
	イ 認知症地域支援推進員による相談	ふれあいの家等で、相談を受ける。	平成30年度	令和元年度	
			実施回数	34回	27回
			相談人数(延べ)	15人	7人

基本目標											
施策の展開											
取り組みの柱・実績											
ウ	認知症予防事業	<p>住民一人一人が、ライフスタイルに応じた認知症予防を継続して実施できるよう、講演会や学習会を実施したり、認知症予防自主サークル活動などを通し、地域住民自身が認知症に対する理解を深め、「認知症になっても安心して暮らせるまち」を目指す。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延利用人員</td> <td>1,826人</td> <td>1,129人</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>83回</td> <td>41回</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	延利用人員	1,826人	1,129人	実施回数	83回	41回
	平成30年度	令和元年度									
延利用人員	1,826人	1,129人									
実施回数	83回	41回									
エ	認知症サポーターの養成	<p>認知症高齢者の早期発見と認知症高齢者が地域で安心して暮らせるよう、地域住民に認知症の正しい知識の普及を図り、認知症に対する理解を深めることで、見守りや支援など地域で支える体制づくりに取り組む。毎年小学生4年生を対象に、小学校と連携して実施している。地域で活動する認知症予防自主サークルの方々も認知症サポーターとして共に参加し、普及啓発を行っている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>8回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>受講人数</td> <td>318人</td> <td>346人</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	実施回数	8回	10回	受講人数	318人	346人
	平成30年度	令和元年度									
実施回数	8回	10回									
受講人数	318人	346人									
オ	おれんじカフェさかいみなど	<p>家族のつどい：介護家族や経験者が集まり、日頃の様子を話し気持ちを共有する場 おれんじカフェ：誰でも参加でき、交流を通し、健康づくり、介護予防などの情報交換を行う場 それぞれ月1回開催する。</p>									
2-②権利擁護の推進											
ア	成年後見制度利用支援事業	<p>身寄りのない認知症高齢者の介護保険サービスの利用契約に支障が出ることを防ぐため、市が本人に代わって後見開始の審判等の請求を行い、後見人を定めることで、認知症高齢者の権利と財産を守る。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実績</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	利用実績	1件	1件			
	平成30年度	令和元年度									
利用実績	1件	1件									

基本目標	
施策の展開	
	取り組みの柱・実績
イ 高齢者虐待への対応	高齢者虐待の未然防止・早期発見・対応に向け、保健・医療・福祉・警察等、関係機関との連携体制の構築を図る。
ウ 消費者被害の防止	消費生活センター、民生委員、介護支援専門員、警察等が必要な情報提供・情報交換を行い、被害防止に取り組む。
目標3 利用者の自立を支える介護保険サービスの安定した提供	
基本施策5 在宅介護を支える基盤の整備	
1-①介護保険サービスの整備	
ア 地域密着型サービスの整備	地域密着型サービス事業所を中心に、身近できめ細かいサービス提供や、在宅での介護・医療の推進、認知症の方への支援の充実を図る。
イ 介護や介護の仕事の理解促進事業	将来の介護従事者の確保を図るため、中学生向けにパンフレットの作成や出前講座を開催し、介護の魅力ややりがいについての理解促進を図る。
1-②介護保険サービスの質の向上	
ア 介護相談員派遣事業	介護認定を受けた高齢者等の相談に応じ、介護サービスに関する疑問や不満、不安を解消するとともに、介護サービス事業者の質的な向上を図る。（介護認定調査員が兼務）
イ 事業者による情報公開	
ウ 適切な要介護認定の推進	
エ ケアマネジメントの適正化	

基本目標		
施策の展開		
取り組みの柱・実績		
1-③適切な介護保険サービスの利用		
ア 事業者への指導監査の実施		
イ 介護情報突合		
ウ 住宅改修・福祉用具の点検		
エ 介護保険制度の周知		
基本施策6 自分にあつた住まいや施設の充実		
2-①暮らしやすい住まいの整備		
ア 高齢者住宅改良費助成事業	風呂やトイレなどを改造（新築・増築を除く）して、在宅生活を続けようとする方に、改造費用の一部を助成する。 対象者：介護保険の要支援・要介護認定を受けた市民税非課税世帯の者 補助率：2/3（限度額533,000円）	
		平成30年度
		令和元年度
利用者数	3人	3人
イ 高齢者住宅整備資金貸付事業	高齢者と同居する者に対して、高齢者のために住宅を増改築するための資金を貸し付ける。 〈貸付条件〉 貸付額：1戸あたり250万円以内 貸付利率：年5%以内 償還方法：10年以内で半年割賦償還	
		平成30年度
		令和元年度
利用者数	0人	0人
貸付金額	0円	0円

基本目標								
施策の展開								
取り組みの柱・実績								
ウ	介護保険住宅改修支援事業	<p>ケアマネジャーの報酬算定外となる介護サービス利用のない高齢者に対する介護保険の住宅改修理由書の作成手数料（1件当たり2,000円）を負担することで、住宅改修が円滑に行われるよう支援する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用実績</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	利用実績	2件	2件
	平成30年度	令和元年度						
利用実績	2件	2件						
2-②多様な住まい								
ア	高齢者世話付住宅	<p>【高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業（シルバーハウジング）】 高齢者に配慮した住宅の供給と福祉サービスの提供という二面から自立生活を支援することにより、在宅生活の継続を支援する。60歳以上で自炊が可能な程度の健康状態の者。 戸数：20戸</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入居戸数（年度末時点）</td> <td>20戸</td> <td>20戸</td> </tr> </tbody> </table>		平成30年度	令和元年度	入居戸数（年度末時点）	20戸	20戸
	平成30年度	令和元年度						
入居戸数（年度末時点）	20戸	20戸						
イ	（特別）養護老人ホーム	<p>身体上、精神上又は環境上の理由及び経済的理由により、家庭で生活することが困難な高齢者を施設に措置して必要な養護を提供する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数（年度末時点）</td> <td>14人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成30年度	令和元年度	入所者数（年度末時点）	14人	12人
区 分	平成30年度	令和元年度						
入所者数（年度末時点）	14人	12人						
ウ	生活支援ハウス	<p>自立して生活することに不安のある低所得の高齢者が入居して生活する施設で、常時施設に滞在する生活援助員が各種相談や緊急時の対応、交流事業などのサービスを提供する。 戸数：20戸</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入居戸数（年度末時点）</td> <td>15戸</td> <td>18戸</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	平成30年度	令和元年度	入居戸数（年度末時点）	15戸	18戸
区 分	平成30年度	令和元年度						
入居戸数（年度末時点）	15戸	18戸						
エ	有料老人ホーム・サービス付 高齢者向け住宅							